

京都大学人文科学研究所共同研究最終報告書

1. 研究課題

中国古代史像再構築のための基礎的研究

Fundamental Research Aimed at Reconstructing the Historical Image of Ancient China

2. 研究代表者氏名

土口 史記

TSUCHIGUCHI Fuminori

3. 研究期間

2019年04月 - 2020年03月 (1年度目)

4. 研究目的

本研究は、王朝ごとに細分化された断代史的な中国古代史研究からの脱却を図り、より包括的な中国古代史像を構築するための基礎を打ち立てることを目的とする。近年の中国古代史研究においては、急速な史料増加に伴い、個別のテーマについては顕著な研究成果が上がっている一方で、研究対象が過度に細分化され、相互の対話・総合が一向に進んでいない点が深刻な問題となっている。本研究の参加予定者は、いずれも中国古代史を専攻する若手研究者としてこうした問題意識を共有しており、これまで複数回にわたって研究会を開催し、より包括的・総合的な中国古代史像構築の可能性を探ってきた。本研究ではその基礎に立ち、前4世紀から後3世紀の中国における①官制構造の理念的側面、および②行政運営の実態的側面を研究対象とする。巨大な官僚機構と精緻な律令制度を存立基盤とした中国古代王朝において、理念と実態との乖離・衝突がいかに現出し、それがいかに調整されあるいは破綻したのかは非常に興味深い課題であり、古代史研究だけに止まらない通時代的な研究課題ともなりうるためである。

The purpose of this project is to break away from the traditional study of ancient Chinese history, which is based on the dichotomy of Chinese dynasties, and to lay the foundations for a more comprehensive representation of ancient China. In recent years, the rapid increase in the amount of historical material available has led to remarkable progress in researching individual aspects of ancient Chinese history, but a serious problem has arisen in that different research subjects have become excessively segmented, whereas mutual dialogue and integration have not

progressed at all. Members of this project team are young researchers majoring in ancient Chinese history, and they have already held several workshops to explore the possibility of constructing a more comprehensive image of ancient Chinese history. Building on this foundation, the project focuses on the ideological aspects of the bureaucratic structure and the actual aspects of administrative management found in ancient China from the 4th century BC to the 3rd century. Since ancient Chinese dynasties established huge bureaucratic organizations and a sophisticated legal system, it is well worth investigating how divergence or conflict between ideals and reality occurred within these systems, and how they either adjusted to change or collapsed. This has relevance not only to ancient Chinese history but also to other ages.

5. 研究成果の概要

本研究班では班員がそれぞれの関心に応じて、官府組織や地方行政、さらには皇室制度などについて研究発表を行ったが、それらのなかで焦点となったのは、従来の時代区分が抱える問題点である。例えば杉村報告では、漢初のいわゆる「郡国制」が、秦の「郡県制」の変種として出現したのではなく、より古い時代の、戦国期の支配構造のなかにその起源を持っているという点が強調された。統一帝国の成立が中国史上の大きな画期であることは確かだが、一方でその前後にははっきりとした継承関係が認められる。本研究を通じて得られたこうした認識に基づき、班員各自が研究論文を執筆しており、その一部はすでに発表されている。

6. 共同研究に関連した公表実績

なし

7. 研究成果公表計画および今後の展開等

既発表の論文に加えて、参加者の研究成果を今後も学術誌上に投稿していく予定である。さらに今回得られた初歩的な成果を土台として、科研費(基盤 B)の獲得を目指している。